

ヘリテック08で講演

中山ITC社長



中山ITC社長(右奥)の講演中

この講演はヘリテック2008を後援するシエファード社からの依頼を受けたもので、ITCが1996年にフィリピン政府、及びベル社の要請をうけて10年のオペリースで納入したベル42EPヘリコプター4機、

「ヘリテック2008」総額40億円の成約事例をテーマとした。中山社長は「ベル社のショールの首都リスボン郊外のカスニラに赴き、ラモス大統領をカイス空港で開催された。出含む政府責任者と協議し、約展企業108社(18カ国)、来場者約1800人、実機展示20機。さらに、AW139、EC155、とITCは10年間にわたる長期オペリース条件を合意・調印し、ITCがベル社に購入フライトが行われ、来場者の関心を集めると共に活発な商談が行われた。同時に『VIPヘリコプター・カンファレンス』では、ITCエアロスペース/ITCリース社の中山智夫社長が『VIPヘリコプターのオペリースと政府専用ヘリ導入のケーススタディ』と題して講演。中山社長は「今回の講演を機に従来はオペリースに薄かった欧州の主要運航会社向けにヘリコプターのオペリース事業を彼らの事業計画も精査しながら今後積極的に展開、ビジネスの商機ととらえたい」と意欲を示した。